



さくらサイエンスクラブ

～さくらサイエンスプログラム訪日者ネットワーク～

ごあいさつ



科学技術振興機構 (JST)
さくらサイエンスプログラム推進本部 本部長
岸 輝雄



さくらサイエンスプログラム
<https://ssp.jst.go.jp>



さくらサイエンスプログラムは、原則、全ての国・地域における40歳以下の学生、研究者、科学技術関連業務担当者の方などを招へいしています。

JSTが運営するさくらサイエンスプログラムを通じて、これまでにアジアを中心に33,000人ももの優秀な若者が日本を訪問し、最先端の科学技術や日本文化を体験してきました。

本プログラムの目的は、プログラムを経験した若者を中心とした継続的な交流が生まれることで、日本と当該国、ひいては世界の科学技術イノベーションを促進し、また、当該国との友好関係の強化に貢献することです。

プログラム終了後も、招へいした若者が日本を含むグローバルな科学技術動向への関心を継続するように、さくらサイエンスクラブという同窓会の一員になって頂き、JSTは継続的に情報提供を行っております。

一方、さくらサイエンスクラブのメンバーにおいては、今まで各国毎に、同窓会を開催するなど、自主的、自発的に活発な活動を開始してきました。

メンバー同士が国内または国境を越えた交流を進めることで、強い絆によるネットワークを構築できます。

コロナ禍で人と人との交流がややもすると希薄となる状況においても、意識して絆を強め連帯を深めることにより、一人ではなしえない大きな取り組みにチャレンジできます。

今後、さくらサイエンスクラブメンバーの一人ひとりが、各国・地域の、ひいては世界のリーダーとして、国・地域や国際社会を牽引する人材になることを期待します。

また、各メンバーが日本や世界との絆を更に深め、会員間のネットワークを強固にすることで、地域的な、国家的な、更にはグローバル課題の解決に結びつくような関係を構築するクラブとなることを強く願っています。

各国・地域同窓会について

JST(科学技術振興機構)が主催する青少年交流事業さくらサイエンスプログラムに参加した若者は同窓会組織であるさくらサイエンスクラブSakura Science Club(略称SSC)の会員となります。2020年時点で会員は3万人強に達しています。

SSCはメンバーの自主的・自発的な取組を中心として運営されており、交流プログラム終了後も会員間の交流、母国・出身地域と日本のネットワーキング強化を目的としたさまざまな活動を試みています。特に同窓会イベントや各国・地域における独自イベントの企画開催、ソーシャルメディア上でのコミュニケーションを活発に行っております。SSCの母体であるJSTは日本の科学技術や留学に関する情報を公式ホームページやメールマガジンを通じて提供する等、継続的な情報発信やイベント開催支援を通じてSSCをサポートしています。

今後も、各地域のメンバーによるオリジナリティ溢れる取り組みを通じて、国のリーダーとなりうる若者によるネットワークが広がり、活性化していくことが見込まれています。

さくらサイエンスクラブの主な活動には同窓会イベントの開催があります。同窓会イベントでは、日本とゆかりの深い研究者の講演や同窓生の講演を通じて旧交を温めるとともに、日本の最先端科学事情や母国・出身地域とつながりの深い研究に触れることができます。また、日本への留学や日本での就職について体験者や紹介機関より情報提供があり、日本との交流に結びつく場となっています。これまでに日本、シンガポール、タイ、中国、インド、スリランカ、ベトナム、マレーシア、インドネシアにて同窓会が開催されてきました。

なお、コロナ渦においては現地でFace to Faceの同窓会が開催できなくなったため、オンライン同窓会というあらたな形の交流が生まれました。

同窓会を開催するにあたりSSCのメンバーが幹事(コーディネーター)として名乗り出て、現地同窓会組織を立ち上げている国もあります。

各国・地域の幹事会はJSTと共に同窓会イベントを運営するだけでなく、現地の言葉で独自の交流活動や各種コンテストなど、特色のあるイベントを開催し、メンバー間の交流を盛り上げています。今までにインドネシア語の交流イベントSAAI Talks、留学生のための就職活動セミナー、といった独自の催しが行われてきました。



SSCの活動に貢献してくださった方には事務局から感謝を表す“Certificate of Contribution”が贈られます。



さくらサイエンスクラブ

<https://ssp.jst.go.jp/sns/jp/index.html>



日本

日本同窓会のメンバーは留学・就職で日本に在住しているメンバーから成り立っています。幹事は2016年9月、日本科学未来館で開催された第1回日本同窓会で選ばれました。翌年2月、幹事はJSTの会議室に集まり、どのような活動が可能かについて話し合いの場を持ちました。2019年11月にはさくらサイエンス青少年交流事業の5周年記念イベントと連動する形で第2回日本同窓会が開催されました。日本で学んでいる同窓生、海外同窓会の幹事や支援者が数多く集まり、SSC同窓生の絆を深めて世界にアピールしていく方法についてあらためてブレインストーミングを

行いました。2021年3月の第3回日本同窓会はパンデミックの影響からオンラインで行われましたが、日本で躍進している研究者を基調講演者に迎え、視聴者は多くの学びを得ることができました。講演者の一人、宇宙飛行士 毛利衛氏からも同窓生を勇気づけるメッセージをいただきました。9月には留学生向けの就職活動オンラインセミナーが開催され、日本で働く利点、就活制度の注意点などが共有され、会の最中には多くの質問が挙がりました。幹事団は今後も日本ならではの内容を世界中の同窓生に発信していければ、という思いで企画を考案しています。



日本同窓会 幹事長からのメッセージ

みなさんこんにちは!そしてsalam sejahtera! 私は現在、高知大学の特任助教として、がんの光線力学療法を研究しています。私は2016年にマレーシアからさくらサイエンスプログラムに参加しました。日本に滞在中、私は最先端技術と日本の人々の仕事に対する情熱に魅了されました。この経験により私は再来日し、研究者としてのキャリアを追求、更にはさくらサイエンスクラブ(SSC)のコミュニティを拡大・活性化する手法を模索していこう、と決意しました。2014年以来、さくらサイエンスクラブは日本と世界のさまざまな分野にて国境を越え、継続的に専門家を結びつける交流プラットフォームとして機能しています。こういった背景から、SSCは科学技術の一貫した成長と発展を世界中で追求するという主たる目標に取り組み、イノベーションの追求に貢献しています。



日本同窓会 幹事長

Lai Hung Wei

中国

SSCの中国支部は現在1万人超のメンバーがおり、同窓生の数ではSSC最大となっています。2017年11月には、中国科学技術部の協力のもと北京において初めての報告会が開催されました。SSCのメンバーがこの成果報告会において、さくらサイエンスプログラムに参加した経験や成果について発表しました。メンバーからは「今後も人材育成のために尽力することを希望しています」「交流を契機に大学間協定など日本の大学との協力の扉が開かれました」など、今後さらに日中交流が深まることを喜ぶ発言が続きました。現在もメンバー同士は「花友会」というSNSグループ上で情報交換を行っています。また、初代日本同窓会幹事長のZou Wei氏は中国帰国後もSSC全体の同窓会活動について熱心に取り組み、オンラインで開催された2021年3月の第3回日本同窓会Sakura Science and Beyondには中国代表として温かいビデオメッセージを提供してくださいました。



インド

インド同窓会、通称ISCA (India Sakura Science Club Alumni Association) は、2018年10月、日本大使公邸で初の同窓会が開催された際に設立されました。幹事になってみたいと申し出た同窓生が中心となり、熱心に同窓会活動に取り組んでいます。約1年後、2020年2月にはインド工科大学ニューデリー校にて第2回同窓会が開催されました。この会では、若手研究者によるプレゼンテーションに加え、高校生を対象としたサイエンスコンテスト(ポスターセッション)が開催され、会の中で優秀作が表彰されました。2021年5月の第3回同窓会は、新型コロナウイルスのためオンラインで実施されました。日本で研究者としてのキャリアを確立したインド人教授らが、修士・博士課程を日本で学ぶことの利点について語りました。この会でISCAはeポスターコンペも実施し、オンラインイベント中に優秀作品が紹介されました。



Facebook



<https://ssp.jst.go.jp/sns/reunion/country/india.html>

インドネシア



インドネシア同窓会、通称SAAI (Sakura Alumni Association Indonesia) はジャカルタで初の同窓会が開催された2019年12月に結成され、様々なア

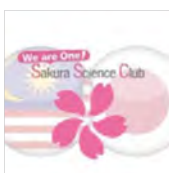
イディアを持つ15人のボランティア幹事が同窓会を立ち上げるために手を挙げました。SAAIはSSC史上初めてオンラインで同窓会を開催した組織でした。これは、パンデミック時に交流活動を維持する上で画期的な出来事だったといえます。また、SAAIは日本留学経験者や研究者の体験談を共有できる親しみやすい講演シリーズ「SAAI Talks」、ソーシャルメディアでのtwibbonキャンペーン、ギフト贈呈キャンペーン、科学エッセイコンペ等を主催することで、メンバー同士の、そして日本との絆を育み続けることができました。SAAIはまた、JSTとJICAが共同で実施している地球規模課題研究パートナーシップSATREPSを紹介するウェビナーも共催しました。



<https://www.facebook.com/sakurascienceclubid/>



マレーシア



マレーシア同窓会、通称MASSA (Malaysia Alumni of Sakura Science Association) はクアラルンプールで初の同窓会が開催された2019年10月に設立されました。多くのマレーシア同窓生が今後の活動に関わるア

イディアを寄せ、最終的には11名の同窓生が幹事になりました。幹事からは「マレーシア・日本間だけでなく、この交流プログラムに参加しているすべての国の同窓生の間で共同研究やネットワーク構築が活発化できれば良い」というメッセージがありました。第2回マレーシア同窓会はオンラインで行われ、日本や母国で躍進中の研究者から日本留学体験談を含むキャリアパスについての講演がありました。同窓会では常に日本留学のモチベーションを高める内容、そして日本留学に関わる情報提供も行っています。



<https://www.facebook.com/MalaysiaAlumniOfSakuraScienceAssociation/>



ネパール



2022年1月、ネパール同窓会、通称SSCN (Sakura Science Club Nepal) を立ち上げるためのオンライン会議が開催されました。ボランティアコーディネーターが顔合わせを行うのはその時が初めてでした。年齢、経歴、職種が異なるメンバーが手を挙げたことで大きな可能性が生まれました。あるメンバーは「知識交換の会、ディスカッション・フォーラム、研修ワークショップを開催してみたい」と提案し、別のメンバーは「SSCネパールが高等教育の場として日本を選択するための知識共有プラットフォームになれば良い」と語りました。幹事団の一人は、「私たちは目上のメンバーからは指導的アドバイスを、若いメンバーからはエネルギーをもらうことができる」と抱負を語りました。意欲的な幹事団はJSTと協力し、まもなく開催される第1回ネパール同窓会の準備に動んでいます。



f Facebook



<https://www.facebook.com/profile.php?id=100072068460522>



スリランカ



スリランカ初の会合は2019年2月にコロンボで開かれました。当日は5名の同窓生が幹事として選出され、スリランカ同窓会、通称SSCAASL (Sakura Science Club Alumni Association of Sri Lanka) が誕生しました。スリランカのSSC同窓生は、同国のNational Science Foundation (NSF) およびモラトゥワ大学と協力して、実践的な理科・科学を直接体験する機会に乏しい遠隔地の中高生を支援しています。第2回スリランカ同窓会は2021年6月にオンラインで開催されました。活発な大学間交流や共同研究が紹介され、参加者は日本に留学し、研究者としてのキャリアを模索するよう奨励されました。またJSTはスリランカの研究者に対し、e-ASIAJRPやSATREPSといった共同国際研究プラットフォームへの参加を呼びかけました。



f Facebook



<https://www.facebook.com/SSCAASL>



ベトナム



2019年3月、ベトナムでの第1回同窓会がハノイで開催されました。9名の同窓生がベトナム同窓会、通称SSCV(Sakura Science Club Vietnam)を立ち上げることになりました。幹事による初の話し合いが2020年1月に行われ、「困っている人々を支援する」、「プロジェクトに協力することで同窓生が時間を共有できる」といった案が挙がりました。また、環境問題イベント、科学コンテスト、研究プログラム、就職説明会、ワークショップの開催といった提案もありました。SSCVは、イベント企画担当グループと、SNSコミュニケーション担当グループで構成されています。新型コロナウイルスにより、2021年9月の第2回ベトナム同窓会はオンラインで開催されました。同窓生からは留学先として日本を選択するうえで交流プログラムがいかに役立ったか、また日本で学び、働いた体験談等、日本留学・就職に関する講演がありました。

Facebook



<https://ssp.jst.go.jp/sns/reunion/country/vietnam.html>



バングラデシュ

バングラデシュでの同窓会活動はフェイスブックの立ち上げから始まりました。2021年にフェイスブックグループが完成し、現在57名ほどの同窓生が当時の写真や日本で経験したことを投稿しています。グループの人数は徐々に増えています。



Facebook



<https://www.facebook.com/groups/197825208419023/about>

シンガポール

シンガポールの同窓生は2016年3月、日本大使館が運営するジャパン・クリエイティブ・センター内で同窓会を行いました。Singapore Polytechnic、River Valley高校、Dunman高校の学生が交流プログラムで得た成果について発表しました。

タイ

第1回タイ同窓会は2017年バンコクで開催された日本留学フェアの会場で実施されました。同窓生の絆を再確認するため第2回同窓会は2020年11月、オンラインで開催されました。タイ語での投稿も多いフェイスブックページは頻繁に更新されています。



Facebook



<https://www.facebook.com/groups/sakurascienceclubinthailand/>

さくらサイエンスクラブ からの情報発信

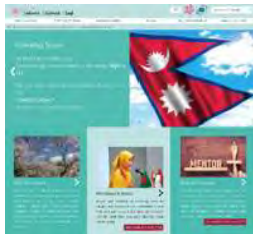
Sakura Science Club Website (英語)



<https://ssp.jst.go.jp/sns/top.html>

SSCホームページ トップページ

直近で行われる同窓会イベント
の告知を掲載



メンバーズボイス (SSCホームページ)

同窓会メンバーが投稿してくれた
メッセージを掲載するコーナー



Sakura Mentor (SSCホームページ)

日本で活躍しているMentorが質問を
受け付け、コラムを執筆



同窓会活動 (SSCホームページ)

同窓会イベントを紹介



さくらサイエンスクラブ イヤーブック

年度ごとの幹事を写真で紹介



さくらサイエンスクラブ フェイスブック

SSCのイベント情報や日本の大学の
留学情報、SSCメンバーの活躍等様々な
情報を発信



さくらサイエンスクラブ メールマガジン

月に1度、最新情報をまとめて
メンバーへ配信



さくらサイエンスクラブ インスタグラム

SSCのイベント・リマインダーや
印象に残る写真を共有



さくらサイエンスクラブ YouTube

過去のイベント動画を配信



Sakura Science Club
Facebook



<https://www.facebook.com/SakuraScienceClubSecretariat/>



Sakura Science Club
Instagram



https://www.instagram.com/sakura_science_club/



Sakura Science Club
YouTube



<https://www.youtube.com/channel/UCSRPtJkbpf6emizNovyW1A>

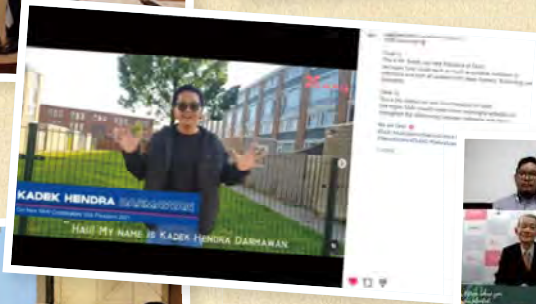
活動記録



第1回ベトナム同窓会
(2019年3月)



第2回日本同窓会
(2019年11月)



2021年に選出された
インドネシア同窓会
新幹事長 Kadek
Hendra Darmawanさん
挨拶(Instagram)



第2回マレーシア同窓会
(2022年2月)



第1回インドネシア同窓会
(2019年10月)



第3回日本同窓会 Sakura Science and Beyond
(2021年3月)



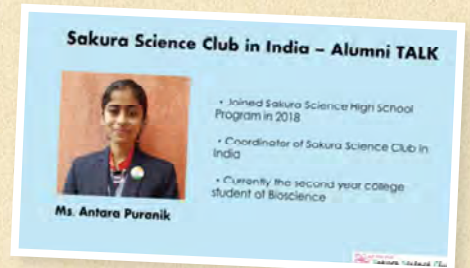
第2回インド同窓会
(2020年2月)



マレーシア同窓会共催
大学オンライン
イベント
(2021年6月)



第2回インド同窓会
(2020年2月)



2020年AlumniTalkシリーズ
Antara Puranikさん(インド)



第1回シンガポール同窓会
(2016年3月)



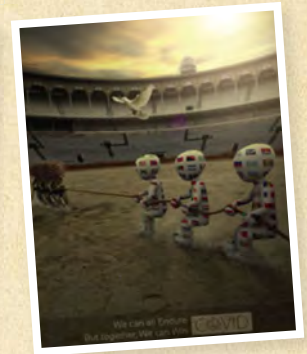
日本同窓会 留学生向け
就活セミナー
(2021年9月)

E-ポスターコンテスト
(2021年5月 第3回
インド同窓会にて開催)

1位
テーマ:国際関係を通じて
コロナに打ち勝つ



2位
テーマ:インドと日本 ダイナミックな
文化的融合



3位
テーマ:国際関係を通してコロナに
打ち勝つ



第1回日本同窓会 交流会
(2016年9月)



第1回タイ同窓会
(2020年11月 フライヤー)



第1回日本同窓会 グループディスカッション
(2016年9月)



第2回インドネシア同窓会 SAAI Grand Webinar
(2020年7月)



インドネシア同窓会
オリジナル企画 (Instagram)



第1回スリランカ同窓会
(2019年2月)



2017年さくらサイエンスクラブ
北京報告会



2020年AlumniTalkシリーズ
Thin Thin Htutさん、Soe Htet Waiさん
(ミャンマー)



2020年AlumniTalkシリーズ
Oscar Gallegos Ortegaさん
(メキシコ)



インドネシア同窓会
オリジナルエッセイ 日本文化の紹介
(Instagram)



第1回タイ同窓会
(2017年9月)

<https://ss.jst.go.jp/sns/top.html>



国立研究開発法人 科学技術振興機構
さくらサイエンスプログラム推進本部

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

Tel : 03-5214-8288

Email : ssp.press@jst.go.jp

URL : <https://ssp.jst.go.jp/>